

# 出入国在留管理庁（入管）からのご案内①

## ～入管での難民・補完的保護対象者の申請手続について～

入管で難民や補完的保護対象者の申請手続をするときには必ず

申請書を提出してください（※）。申請書に必要なことをすべて書いてか

ら窓口に来てください。申請書に必要なことが書かれていないときは、

必要なことをすべて書いてからもう一度窓口に来てもらうこともありま  
す。

この案内の後ろにある資料は、申請書にどんなことを書けばいいかを

説明するために、申請書の言葉を分かりやすくしたものです。

申請書を書くときはこの案内と一緒に後ろにある資料も読んでくださ  
い。

よく分からないときは、入管の職員に相談してください。

（※）難民の申請手続は、「人種」、「宗教」、「国籍」、「特定の社会的集団の構成員で  
あること」又は「政治的意見」が理由で、自分の国に帰ったら、命や身体など  
が危ないときに行う手続です。

補完的保護対象者の申請手続は、例えば、自分の国で紛争が起こり、その紛争  
に巻き込まれる可能性があるため自分の国から逃げてきたなど、上の5つの理由  
以外の理由で、自分の国に帰ったら、命や身体などが危ないときに行う手続で  
す。

## 出入国在留管理庁（入管）からのご案内②

### ～申請書を書くときのお願い～

申請書はあなたが難民や補完的保護対象者かどうかを審査するため

にとっても大切なものなので、必要なことをすべて、なるべく詳しく書い

てください。また、下のことを守ってください。

- 原則として、申請書は難民や補完的保護対象者の手続をする人が書くものです。

ただし、16歳になっていない子どもの申請書をお父さんやお母さんが書くことはできます。

- 字を書くことができない人は、入管の職員に相談してください。
- 質問の答えが何も書かれていないままだと、あなたが書き忘れてしまったの

か、書く答えがないのかが分かりません。書く答えがないときは答えの欄に

「×」や「/」と書いてください。覚えていなくて答えが書けないときは「覚えて

いない」と書いてください。

- 日本語以外の言語で書く場合、可能な限り、一つの言語で書いてください。
- チェックをつける質問には必ずどれを選んだかが分かるように「✓」を書いて  
ください。
- 鉛筆や消せるペンでは書かないでください。

< 記載例 >

別記第七十四

日本国政府法務

法務

私は、

・難民の申請手続と補完的保護対象者の申請手続のどちらの申請をしますか。  
 ①難民とは、人種、宗教、国籍、特定の社会的集団の構成員であること、政治的意見、のいずれかの理由で、自分の国に帰ったら命や身体などが危ない人のことです。  
 ②補完的保護対象者とは、紛争に巻き込まれるおそれがある逃げてきた人など、①以外の理由で、自分の国に帰ったら命や身体などが危ない人のことです。  
 ・当てはまる方に「✓」してください。二つとも「✓」することはできません。  
 ・「①難民認定申請」に「✓」したときは、あなたが難民かどうかの判断と合わせて、あなたが補完的保護対象者かどうかを判断します。「②補完的保護対象者認定申請」に「✓」したときは、あなたが補完的保護対象者かどうかだけを判断して、あなたが難民かどうかは判断しません。

- ①難民認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第1項の申請）  
 ②補完的保護対象者認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の申請）

を行うものとして、本申請書を提出します。

※上記のうち、どちらか一つにチェックをしてください。

- ①の申請をした場合には、難民の該当性及び補完的保護対象者の該当性を判断し、あなたが難民かどうかは判断しません。  
 ②の申請をした場合には、補完的保護対象者の該当性のみが判断され、あなたが難民かどうかについては判断されません。

・パスポートに書いてある自分の名前をアルファベットで書いてください。  
 ・パスポートの姓 (SURNAME)、名 (GIVENNAME) の順に書いてください。

・パスポートに書いてある自分の誕生日を書いてください。

当てはまる方に「✓」してください。

・日本での今の住所を書いてください。  
 ・在留カードを持っている人は、在留カードに書いてある住所を書いてください。

・パスポートに書いてある、あなたの国籍・地域を書いてください。

・今の仕事を書いてください。  
 ・なければ「×」や「/」と書いてください。

・入管と連絡できる電話番号を書いてください。  
 ・ないときは「×」や「/」を書いてください。

・パスポートに書いてある、あなたが生まれた町を書いてください。

氏名	NYUKAN ICHIRO			性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	(年) 1990	(月) 1	(日) 1	現在の職業	×
住居	ABCDE			出生地	ODAIBA
住居地	5-5-30, KONAN, MINATO-KU, TOKYO			本人以外	<input checked="" type="checkbox"/> 本人以外 (本人以外の場合) 連絡先氏名 NYUKAN MASAO
所持の有無	(ありの場合) 番号	所持の有無	(ありの場合)	旅券 <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり その他の所持する身分証等 <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	
所持の有無	(ありの場合) 番号	所持の有無	(ありの場合)	residence card driver's license	
所持の有無	(ありの場合) 番号	所持の有無	(ありの場合)	residence card driver's license	

自分のパスポートを持っていれば、「あり」に「✓」してください。持っていなければ、「なし」に「✓」してください。

「あり」に「✓」したときは、自分のパスポートの番号を書いてください。

パスポート以外の身分証明書を持っていれば、「あり」に「✓」してください。持っていなければ、「なし」に「✓」してください。

「あり」に「✓」したときは、身分証明書の種類を書いてください。

ここに何も書かないでください。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

※この申請書に書かれている名前 (NYUKAN ICHIRO) などの内容は見本です。そのまま書かないでください。  
 ※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

【注意事項】

以下の注意事項をよく読んで上で質問に答えてください。  
読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

- この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いてください。
- 回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いてください。
- この申請書に事実と反することを記載したり、虚偽の資料を提出した場合は、審査上不利を被ることがあります。
- 在留資格を持っていない人について、今まで2回以上申請をしたことがある場合、今回の申請であなたが難民又は補完的保護対象者と認められるべき相当の理由がある資料を出さなければ、強制送還は停止されませんが、その他の判断しますが、他に入管に出したい資料があれば、この申請書と一緒に提出してください。

1 前回の難民・補完的保護対象者としての職歴、日本の出入国

- いいえ
- はい

→変更事項はどれですか。

- 国籍
- 家族構成
- 来日前の居住歴
- 来日前の最終学歴
- 来日前の職歴
- 日本の出入国歴
- 海外渡航歴
- 宗教（宗派）

→変更内容を具体的に書いてください。

・前回の申請からあなたの国籍、あなたの家族、日本に来る前に住んでいた場所、日本に来る前に最後に通っていた学校や行ってた仕事、日本を出入りしたことがあるか、日本以外の国に行ったことがあるか、あなたの宗教（宗教の中の種類（例えば、イスラム教の中のスンニ派、キリスト教の中のカトリックなど））について変わったことはありますか。  
・「はい」に「✓」したときは、前回の申請から変わったことについて、下に書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

前回の申請から何が変わったかを詳しく書いてください。

2 前回主張した迫害事情について、今回も引き続き主張しますか。

- はい
- いいえ

→「いいえ」と答えた

・前回の申請であなたが主張した、あなたの国に戻ったら、あなたの命や身体などどのような危険なことが起こるかやその理由について、今回の申請でも主張しますか。  
・「いいえ」に「✓」したときは、下に具体的な理由を書いてください。「はい」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

どうして前回の申請で主張していたことを今回は主張しないのか、詳しく書いてください。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。  
※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

・あなたが国に帰ったら命や身体などが危ないことについて、前回の申請のときにはなかった新しい理由がありますか。  
・「ある」に「✓」したときは、詳しい内容を、下の(1)から(7)に書いてください。  
・「ない」に「✓」したときは、下には何も書かないで、次のページの4から書いてください。

3 今回は、新たに主張する迫害事情がありますか。

- ない → 4以降の質問に答えてください。
- ある

(1) 「新たな迫害事情」は、前回主張した迫害事情と関連するものですか。

- いいえ
- はい

新しい理由は、前回の申請であなたが主張した理由と関係がありますか。

(2) 「新たな迫害事情」が発生した時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

いつ、新しい理由が起きましたか。○年△月◇日からのように書いてください。

(3) 「新たな迫害事情」をあなたが知った時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

その新しい理由をあなたが知ったのはいつですか。○年△月◇日のように書いてください。

(4) 「新たな迫害事情」が発生した場所は、どこですか。

どこで、新しい理由が起きましたか。

(5) 「新たな迫害事情」を前回の手続で主張できなかったのはなぜですか。

新しい理由について、前回の申請のときに説明しなかった理由を書いてください。

新しい理由の内容について、下の案内に沿って書いてください。

(6) 「新たな迫害事情」の内容を具体的に答えてください。

- ア 迫害を受けたのは誰ですか。
- あなた自身
  - あなたの家族・親族

- イ 誰から迫害を受けましたか。
- 前回申請と同様
  - 上記以外（具体的に書いてください。）

上記以外（具体的に書いてください。）  
誰が危ないことをされましたか。あなたやあなたの家族・親族（お父さん、お母さん、兄、弟、姉、妹、妻、夫、子ども、おじいさん、おばあさんなど）以外のときは、下に詳しく書いてください。

危ないことをしてきたのは誰ですか。  
前回の申請と違うときは、誰がするのか、詳しく書いてください。

ウ どのような迫害を受けたのですか。

命や身体などについて、どのような危ないことをされましたか。  
審査をするために大切なことなので、いつ、どのようなことをされたか詳しく書いてください。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。  
※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

エ 迫害を受けたのは、なぜですか。

前回申請で主張した理由と同様

上記以外（具体的に書いてください。）

どうして、命や身体などに危ないことをされたのですか。前回の申請と同じときは、上の口に「✓」をして、下には何も書かないでください。前回の申請と違うときは、下の口に「✓」をして、詳しい理由を書いてください。

オ 迫害と関係する本国情勢に大きな変化があった場合、それを具体的に書いてください。

あなたの国でこれまではなかった大きな出来事がある、それが理由であなたがあなたの国に帰ったら命や身体などに危ない目にあうのであれば、それについて書いてください。

(7) あなたが本国に帰国した場合、誰から、どのようなことをされるおそれがありますか。

前回申請と同様

上記以外（以下に具体的に書いてください。）

あなたが国に帰ったら、誰からどのようなことをされますか。前回の申請と同じときは、上の口に「✓」をして、下には何も書かないでください。前回の申請と違うときは、下の口に「✓」をして、アとイを書いてください。

ア 誰から

国家機関（名称等）

上記以外（名称等）

あなたの命や身体などに危ないことをするのが、あなたの国の機関のときは、「国家機関」に「✓」を、それ以外の誰かのときは「上記以外」に「✓」をして、名前などを書いてください。

イ どのようなことをされるおそれがありますか。

・あなたがあなたの国に帰ったら、あなたの命や身体などについて、どのような危ないことをされますか。  
・審査をするために大切なことなので、どのようなことをされるか詳しく書いてください。

4 今回、新たに提出する資料はありますか。

ない

ある

今回の申請で何か新しく入管に出すもの（書類や写真など）はありますか。  
・「ない」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。  
・「ある」に「✓」したときは、出すことができるものについて下を書いてください。

→「ある」と答えた場合は、その資料の内容を具体的に書いてください。

資料名	内容	前回までに提出できなかった理由	提出予定時期
何を入管に出すことができますか。	それはどのようなものですか。 ○○が書かれている、△△が写っているというように書いてください。	なぜ、前回申請までに出すことができなかったのですか。	いつ頃、入管に出すことができますか。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。  
※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

5 現在の健康状態はどうですか。

良好

不良

(1) 具体的な病名・症状を記載してください。

(2) 通院や医師による治療を受けていますか。

はい

いいえ

・なぜ完気がないのですか。どこが悪い又は痛いかを書いてください。

・お医者さんに診てもらったことがあるときは、病気の名前を書いてください。

・あなたは元気ですか。元気な人は「良好」に「✓」してください。元気ではない人は「不良」に「✓」してください。  
・「不良」に「✓」したときは、(1) (2) も書いてください。「良好」に「✓」したときは、(1) (2) には何も書かないでください。

あなたは、現在、定期的にお医者さんに診てもらっていますか。

6 難民調査官のインタビューを希望しますか。

はい

いいえ

今回の申請内容について、インタビューを受けたいですか。

「はい」と答えた場合は、難民調査官がインタビューする際に通訳は必要ですか。

はい → (1) 及び (2) を回答してください。

いいえ → (2) を回答してください。

・インタビューをするときに通訳はいますか。

・「はい」に「✓」したときは、(1) と (2) を書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、(2) だけ書いてください。

(1) 通訳は何語を希望しますか。

何語の通訳をしてほしいですか。

語

(2) その他インタビューに関して希望する事項があれば、理由とともに書いてください。

(例：難民調査官や通訳人の性別、通訳人の国籍)

インタビューについて、(1) のこと以外で希望があればその理由も書いてください。

(例：○○の理由で男性・女性の面接官を希望します。△△の理由で□□の国籍の通訳人を希望します。)

記載した内容に誤りがない場合には、以下にチェックをしてください。

申請書に記載した内容はすべて理解しており、誤りはありません。

これまで書いたことに間違いはないですか。

本件申請書を代理人 (注) として提出してください。

(注) 外国人が16歳に満たない者であるとき又は疾病その他の事由により自ら出頭できないときは、当該申請者の父、母、配偶者、子、又は親族が申請者に代わって申請することができます。

(記載・作成した人の氏名)

(申請者との関係)

サインを書いてください。

入管にこの申請書を出す日付を書いてください。

申請者 (代理人) の署名

年 月 日

※この申請書に書かれている名前 (NYUKAN ICHIRO) などの内容は見本です。そのまま書かないでください。

※欄外には何も書かないでください。